

分類	機能	改良内容
システム	国土地理院マニュアル対応	国土地理院発行の「令和6年3月 地上レーザ測量システムを用いた三次元点群合成マニュアル」(令和7年4月 一部改正)および「LidarSLAM技術を用いた公共測量マニュアル」で求められているいくつかの機能および帳票の出力に対応しました。統合型測量CADソフトウェア「TOWISE」と併用することで、マニュアルに沿った作業をサポートします。
システム	プロジェクトフォルダを開く	TBCのクイックアクセスツールバーやプロジェクトエクスプローラーのコンテキストメニューから、プロジェクトフォルダを直接開ける新しいコマンドを追加しました。
システム	コマンドペイン	コマンドペインの上部にあるロックアイコンを解除することにより、コマンドペイン表示中でも、平面ビューや3Dビュー上でオブジェクトを選択してプロパティを表示したり、コンテキストメニューを表示することが可能になりました。再度ロックアイコンをクリック、またはコマンドペイン内をクリックすると元のコマンドに戻ります。
システム	ビューフィルタマネージャ	ポイントのポイントIDや特徴コード、高度などを、ポイントラベルの有無に関係なく表示できるように改良しました。
データ交換	Connected Workspace	Trimble AccessやTrimble Connectとのワークフロー統合がよりスムーズにできるようUIを刷新しました。新UIにより、プロジェクト共有やデータ連携が直感的に操作可能になりました。
データ交換	カスタムエクスポート	「ターゲットシステムへの変換」として、以下の3つの座標変換オプションを追加しました。 なし: 変換しない 局所座標系: 指定した基準点を使ってローカル座標系へ変換する CRS: 指定した座標系へ変換する
データ交換	CSVインポート	CSVファイルをインポートする際に、データの座標系を指定して、プロジェクトの座標系に変換してインポートする機能を追加しました。古い座標系やGIS座標系との整合性を保ちたい場合に便利に利用できます。
データ交換	JobXMLインポート	Trimble mini prismを使用したTrimble Access (Ver.6.32) で生成したJobXMLファイルがインポート可能になりました。〈ProduceAbbrev〉のXML要素により、プリズム定数補正された計測点を計算します。
データ交換	JobXMLインポート JobXMLエクスポート	JobXMLファイルのエクスポート／インポートにおいて、「ライン」「ポリライン」「ポリゴン」「Esri、Postgres、SQL ServerなどのGIS接続からのデータ」のジオメトリを含むように改良しました。フィールドでの編集後、Trimble AccessとTBC間でそれらのデータの交換が可能になりました。
データ交換	DXFエクスポート DWGエクスポート	エクスポートする際に、モデルの表示範囲を自動的に設定して出力するように改良しました。これにより、出力したファイルをCADアプリケーションで開いた際に、自動的に正しいズーム位置で表示されます。
データ交換	DXFエクスポート DWGエクスポート	ポイントシンボルコマンドやラベルで作成したシンボルを、DXF/DWGエクスポート時にブロックとして出力するように改良しました。

分類	機能	改良内容
データ交換	DXFエクスポート DWGエクスポート	プロジェクト全体のモデル情報とシートを一括で出力する「プロジェクト全体を選択」のチェックボックスを追加しました。また、プロジェクトエクスプローラでシートを選択して出力した場合に、モデル全体のデータを含めるかどうかの確認メッセージを表示するように改良しました。
データ交換	Geodatabase XMLエクスポート	同じ属性定義を持つ複数のフィーチャーがある場合に、それらを1つのドメインエントリに統合するオプションを追加しました。
測量	トラバースの平均化 網平均の実行	推測された初期方位を持つような閉合リンクトラバースの計算が可能になりました。トラバース上の制御点を使用して、未知の方位を自動的に補正します。
CAD	輪郭を取得	室内・屋外の計測ポイントや点群のポイントをピックして、ラインストリングを生成する新しいコマンドを追加しました。平面図(例:間取り図)の生成などに利用でき、選択した点を自動的に接続して壁や部屋の形状を形成できます。
CAD	重複	テキストオブジェクトのコンテキストメニューに、「重複」コマンドを新しく追加しました。既存のテキストをより簡単に複製して移動できるようになりました。
CAD	ラベル	ラベルの位置や属性の変更を、特徴コード処理後も保持するように改良しました。ラベルの再配置や削除、属性変更を行うと、対象のポイントやラインのラベルがロックされて変更が保護されます。
CAD	レイヤーオブジェクト	複数オブジェクトのレイヤーを一括で変更できる機能はそのままに、単一のオブジェクトを選択してレイヤー変更できるように改良しました。単一オブジェクトのレイヤー変更では、オブジェクトの選択と同時にレイヤーを変更するため、より簡単にレイヤーを変更できるようになりました。
製図	角度寸法	寸法テキストのみを表示できるようにする「線と矢印を表示」のプロパティを追加しました。また、「テキストの向き」のプロパティにより、寸法ラベルを角度寸法線に対して垂直に配置できるようになりました。
製図	直線寸法 角度寸法	直線寸法および角度寸法の両端の矢印の向きを個別に設定できるようにしました。DXFやDWGファイルへエクスポート／インポートした場合も、この矢印の向きを保持します。
製図	ラベルスタイルマネージャ	ラインのラベルタイプのドロップダウンに、「ライン名」のラベルタイプを追加しました。
面	面構成要素の追加と削除	対象サーフェスを構成しているオブジェクトを一括で選択する「選択」ボタンを追加しました。
ポイントクラウド	表示キャッシュ	ポイントクラウド表示のキャッシュサイズ設定オプションを削除しました。各システムに最適なキャッシュサイズを自動計算するようになり、手動設定が不要になりました。

分類	機能	改良内容
ポイントクラウド	点群の分類	点群の分類コマンドのトレーニング機能を強化しました。「完全なファイルを使用して検証」のチェックボックスがオンの場合は、時間はかかりますが高精度で分類できます。オフの場合は、精度は下がりますが短時間で分類でき、オンの場合と比べて最大6倍ほど短縮可能です。また、TensorBoardのモデルを削除せずにチャートをクリアできるボタンを追加しました。
ポイントクラウド	点群の分類	地上型レーザスキャナーで取得した点群の分類モデルを改善しました。特に高架道路や標識等の構造物の分類精度が向上しています。
ポイントクラウド	点群の分類	CPUおよびGPUのリソース使用を最適化し、分類処理の速度を向上しました。
ポイントクラウド	ポイント特徴を抽出	標識の抽出機能を改良し、最大で約50%の高速化を実現しました。標識のポイントクラウド領域を使用することで、新しい抽出アルゴリズムはより高品質な抽出を行います。また、カンチレバー型の標識や2本支柱の標識も抽出可能になりました。
ポイントクラウド	IRI(国際ラフネス指数)レポートの強化	Excel出力時に、IRI単位を m/km または mm/m で表示できるように改良しました。また、警告(黄色)と失敗(赤色)を示すしきい値を任意に設定できるようにしました。
ポイントクラウド	IRI(国際ラフネス指数)レポートの強化	長い直線区間での誤差防止のため、最大点間隔の設定を必須としました。
三次元計測	リボン	作業規程の準則の三次元点群測量や、地上レーザ測量システムを用いた三次元点群合成マニュアルなどに則った作業がしやすくなるように、三次元計測タブ内のコマンド配置を調整しました。従来はMacrosタブ内にあったいくつかのコマンドについて、当該タブに移動しています。
三次元計測	CADジオリファレンス	CAD図形(線、円、テキスト、ラインストリング、ポイントなど)を、移動元の2点と移動先の2点を指定して、移動または複写するコマンドを新しく追加しました。原点(0, 0)付近にポイントクラウドがあるが、ポイントクラウドフィルタ用の計測円は実際の位置にあるような場合に、計測円を原点付近に回転複写して計測円フィルタリングコマンドでフィルタできるようにします。
三次元計測	計測円フィルタリング	CADジオリファレンスコマンドを起動するボタンを追加しました。
三次元計測	計測円フィルタリング	対象のスキャン測点毎に新しいスキャン測点を作成するオプションを追加しました。フィルタリング後のポイントクラウドを合成したい場合にチェックをオンにして、合成する際の参照測点、移動測点として選択できます。
三次元計測	グリッドデータ作成	ポイントクラウド領域を選択して、グリッド状の新しいポイントクラウド領域を作成するコマンドを追加しました。グリッド位置の高さを決める手法として、TIN法または最近隣法を指定してグリッドデータを作成できます。

分類	機能	改良内容
三次元計測	標定点・地上レーザスキャナ配置図	地上レーザ測量システムを用いた三次元点群合成マニュアルで規定されている「様式6-1 計測実績図」「様式6-2 計測実績表」や、LidarSLAM 技術を用いた公共測量マニュアルで規定されている「様式7 計測実績図」を作成する機能を追加しました。出力するレポートの種別を切り替えることで、出力対象データを選択するUIが切り替わります。
三次元計測	平面直角座標系への変換精度管理表	地上レーザ測量システムを用いた三次元点群合成マニュアルで規定されている「様式7-1 平面直角座標系への変換精度管理表(標定点)」「様式7-2 平面直角座標系への変換精度管理表(検証点)」や、LidarSLAM 技術を用いた公共測量マニュアルで規定されている「様式8-1 平面直角座標系への変換精度管理表(標定点)」「様式8-2 平面直角座標系への変換精度管理表(検証点)」を作成する機能を追加しました。また、ターゲット抽出機能のUIをより使いやすく改良しました。
三次元計測	ポイントクラウド均一度点検表	地上レーザ測量システムを用いた三次元点群合成マニュアルで規定されている「様式8 オリジナルデータ均一度点検表」を作成する新しいコマンドを追加しました。
三次元計測	点密度点検精度管理表	地上レーザ測量システムを用いた三次元点群合成マニュアルで規定されている「様式9 点密度点検精度管理表」、LidarSLAM 技術を用いた公共測量マニュアルで規定されている「様式9 点密度点検精度管理表」を作成する新しいコマンドを追加しました。
三次元計測	点検測量結果精度管理表	地上レーザ測量システムを用いた三次元点群合成マニュアルで規定されている「様式10-1 点検測量結果精度管理表(斜距離計測)」「様式10-2 点検測量結果精度管理表(地上レーザ測量)」、LidarSLAM 技術を用いた公共測量マニュアルで規定されている「様式10-1 点検測量結果精度管理表」を作成する新しいコマンドを追加しました。
三次元計測	精度試験記録簿	地上レーザ測量システムを用いた三次元点群合成マニュアルで規定されている「様式1 地上レーザ測量システム精度試験記録簿」、LidarSLAM 技術を用いた公共測量マニュアルで規定されている「様式1 LidarSLAM機器精度・性能試験記録」を作成する新しいコマンドを追加しました。

2025年8月
(株)ニコン・トリンブル